

9月の生活表

2018年 9月

聖マリア幼稚園

月主題：弾む

・保育日数（18日）

月目標：・ 私たちの平和な日々を感謝し、神様の望まれる平和の大切さを共に考え、祈る。

- ・ これまでの遊びに加え、夏の経験からの遊びが始まり、試したり相談したりしながら友達の関係が広がる。
- ・ 空・星・虫など自然の変化に興味を持ち、友だちと思いを通わせながら関心を深める。
- ・ 生活のリズムを取り戻し、見通しを持って生活する。

今日は臨時休園日（に書いています）。大型台風21号の到来。園長が6年生の時に襲来した第二室戸台風と同じコースとのこと。自宅の木製の庭の門が倒れたり、錦林小学校校庭にあった大木が倒れたりしたことを思い出します。今のように情報が十分でなかったことと、停電になったこと、自分の部屋の雨戸を抑えても尚、すごい風で内部に膨れ上がったことも思い出します。自然の脅威に驚くばかりです。今夏のように、大型の台風・地震・大雨の経験は、必要のない経験ですが、子ども達は、家の中から凄まじい暴風雨を眺めていたのでしょうか。子ども達が、自然の変化に興味を持ち、図鑑を広げ、観察を続け、それを将来の仕事に、と思うお子さんも現れるかもしれません。危険や被害がないことを祈りつつ、多くの被害者の方々に思いを馳せたいと思います。今回は日中だったから、まだ、この状況をしっかり見聞きして受け止められていましたが、夜中だったらと思うと本当に恐怖ですね。イエス様なら「嵐よ！ 静まれ！！」と 言ってくださるでしょうか？

さて、2学期が始まって、みんなで全員出席を喜んでいたのも束の間この大嵐。ゲームで「大あらし！」と席取りゲームをいたしますが、この経験は、きっと大急ぎで自分の椅子を取りに行こうとする行動が生まれるのではないかなあ、と思ったりします。様々な経験、必要不可欠なこと、しなくても良い経験。これから成長していく子ども達にとっての経験は、いかなるものが良いのでしょうか。経験をするということは、たとえそれが、必要であれ不要であれ、そのことを頭に、体で受け止めて、次に何かが起こった時に、自発的に自分で何かをしようと思った時に、生かされるということではないでしょうか。こんな恐ろしい台風でなくとも、日々の中で経験しておかぬばならない事柄はいっぱいありますね。基本的な生活面で、それを応用できるように、そこから新しい創意工夫を交えて発展させていくなど。たくさんたくさんの経験を自分のみではなく、お友達と共有すること、また先生も含めていろんな方から教えて頂くことで、あたらしい経験を積めることも大切ですね。44日の長い夏休みに経験したことが、この2学期の子ども達の遊びに、生活に生かされることを楽しみにしています。内面的な成長を助長できるような交わりがあればより良い成長へと促されますね。また、2学期の保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《 チャプレンコーナー 》 9月

月聖句：ザアカイ、急いで降りてきなさい。（ルカによる福音書 19：5）

ザアカイさんは、徴税人の頭でした。徴税人とはみんなから税金を預かる仕事。

けれども今とはずいぶん仕事の仕方が違います。その頃の徴税人たちは、決められた税金の他に、自分のためのお金を上乗せして、人々から取っていたのです。

徴税人たちは、時には暴力を使ってでも力づくで、税金を集めていました。だからみんなは、徴税人たちのことが嫌いで、その中でも徴税人の頭であるザアカイさんのことが大嫌いでした。

ある時、その街にイエス様が来られることになりました。ザアカイさんはイエス様の姿を見たいと思いました。ところがザアカイさんは背が低くて、みんなの後ろからイエス様の姿を見ることができません。そこで近くにあった木の上に登りました。向こうからイエス様がやってきます。そしてザアカイさんの上っている木の下にまで来た時に、イエス様は上を眺め、こう言いました。「ザアカイさん、今夜はあなたの家に泊まりたいから、急いでおりてきておくれ。」ザアカイさんはびっくり！そしてすごく嬉しくなりました。ザアカイさんは急いで降りてきて、イエス様を家に迎え、そしてみんなもお招きして、大きなパーティーを開きました。そしてイエス様に言いました。「これからは悪いことはしません。そして貧しい人のために、私のお金を使います。」その言葉を聞いて、イエス様も喜ばれました。

…聖書に記された物語です。イエス様の愛は、人々の生き方を、自分中心の生き方から、愛の生き方へ変えていきました。愛は次の愛へとつながります。私たちが子どもを愛するとき、その子は誰かを愛する人へと成長することでしょう。誰かから愛され、誰かを愛することが、私たちの幸せです。

おたんじょうび おめでとうございます

10日：いくたに ともこせんせい

25日：やまなか さねかげくん

26日：どい ゆうせいくん

30日：さなべ りょうちゃん

<生活指導>

☆ 2学期の始業にともない、規則正しい生活のリズムに戻しましょう。

- ・ 登園時間を一定に。(8時半～9時) 朝の遊びを大切にしましょう。
- ・ 体調を整えましょう。早寝早起き、朝食、うがい、手洗い、入浴、シャンプー等の励行。
- ・ 毎日水筒を持参しましょう。(通年でお持たせ下さい。気温が下がっても必要です。)

☆ 「秋の交通安全週間」への式典に参加します。(9/20) これを機会により一層交通ルールを守り、事故に遭わないように家族みんなで気をつけましょう。

(信号の確認・シートベルト・チャイルドシート・自転車の乗り方・横断歩道の渡り方等々)

☆ 秋の自然に興味関心(好奇心・探究心等)を持たせる機会を得、親子でそれに向き合ってみましょう。

- ・ 移り変わる自然：虫取り、虫の声、種取り、秋の花々、木の実、空の雲、気温の変化、山の色など小さな秋を見つけましょう。

☆ 敬老の日を機会に祖父母の存在を知らせ、接する機会を持って楽しく遊び、昔のお話も聞いてみましょう。

- ・ いつも孫達のことを守り、祈って下さっている祖父母に対し、感謝の意を表しましょう。
- ・ 曾祖父母がご健在でしたら、その方の幼少期の遊びやお話を聞き、またその家に伝わる大切な事柄など、命とともに繋がってきていることを確認し合い、また繋いで行かぬばならないことを、幼い子ども達にも知らせる機会を持ってみましょう。

☆ ご近所との繋がりも大切にしましょう。

- ・ 顔見知りのご近所の方々にもご挨拶をしましょう。『〇〇に住んでられる〇〇さん』であることも知らせましょう。

<こひつじの会よりひとこと>

「観測史上初」という言葉を連日耳にした酷暑の夏、皆様お変わりなく元気に二学期を迎えられているでしょうか。一年で一番子供たちと長い時間を共にすることができる夏休みを終え、春休みとは顔つきの違う我が子を見て、四月から新しい環境でそれぞれたくさんの刺激をもらって成長しているのだなと感じ、また二学期での成長を楽しみにしているところです。

縁あって、昨年度長女を緑組に転入させて頂いて、本当に一年間感激と感動と感謝でいっぱいでした。急に決まった転勤に加え、初めての子供の転校と不安しかなかった私に、本当にどなたも丁寧に優しく幼稚園のことから京都での暮らし、子育てに関する悩みまで親身に聞いて下さり、そして笑顔で仲間に入れて頂きました。その時感じた温かい気持ちは、大人の私にとっても宝物になっています。同じように先生方からもお友達からもそのご家族からも受け入れられ、温かく迎えられた子供たちは本当に幸せでありがたいことだなと思っています。そしてこの温かい環境は決して当たり前のもではなく、聖マリア幼稚園の伝統とそこに介する全ての人の関わりによって築かれているとても尊いものだと感じるのです。子供たちが「自分らしく」いられる聖マリア幼稚園がいつまでも「聖マリア幼稚園らしく」あるお手伝いの一端を担うことができればと思っています。

書記 花組 水田真衣子

<クラスだより>

花組

全員の顔が揃った2学期始園の日。日焼けして少し遅くなった子どもたちの姿に、私たちも自然と笑顔になりました。久々の登園に、泣いてくるんじゃないかしら？ ママの手が離せないかもしれない…？ というこちらの心配をよそに、意気揚々と保育室にやってくる子どもの笑顔や、階段が上がったところで思わず階下を見下ろして「ママ～」と泣いているお友達に気が付いて、「せんせい、泣いてはる！」と報告に来てくれたり、プレちゃんからの新しいお友達にすすんで声を掛け、お世話してくれる頼もしい花組の姿が目映りました。そうです！なんと花組さん9月から20人になりましたヨ。お部屋も少し模様替えしてスタートしました。それにしても不思議ですね、何事も最初はドキドキするのに、始まってしまおうとなんとなく落ち着くものです。自分一人では戸惑うことでも、みんなが創り出す雰囲気「ほっ」とさせてくれるのでしょうか。胸があったかくなる2学期の始まりでした。そして…子どもたちの鞆に1枚のカレンダーが入っていませんでしたか？

いつもなら年長緑組さんが、毎日めくってくれる日めくりカレンダーを、夏休みの初日分から園児全員がめくらせて貰えたのです。そのカレンダーをどうしたらいいのか？ と子どもなりに考えていたのでしょうか。大きなホールに円形に座ると、向かい側に座るお兄さんお姉さんの様子がお手本になります。その様子を観察していた花組の子どもたちは、手にしたカレンダーを自分で折りたたんで椅子の下へ置いていました。しかも、隣同士知らせ合って、助け合って！ その姿にまたまた担任は胸があったかくなりました。「見て」「真似る」「やってみる」「失敗する」「困る」「考える」「もう一度やってみる」「工夫する」…子どもたちの成長に必要な知恵（技術/方法）知識（発見/興味/関心）は、教えることで獲得できるものだけではありません。日常の中で、子どもたち自身で身に付けていくことの方がうんと沢山あるのです。2学期は子ども達自身が「発見を楽しみ、自分でやってみる」機会に恵まれています。「行事」というと、主体がどこにあるのか？忙しい！大変！と大人は感じてしまいますが（実際ご協力いただくことが多いのですが）、子どもたちの「初めて」の経験が豊かなものになるように、私たちが工夫していかなければと考えています。

大きな大きな台風の襲来とともに始まった2学期。あまりの風の強さに脅威を感じました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。自然の営みは驚異と脅威が背中合わせなのだと思改めて気づかされました。これもまた、神様がお造り下さった世界。その世界に身を置いて、助け合えるのも私たちに与えられた知恵ですね。この2学期、困ったこと、苦しいことがありましたら、どうぞお声かけくださいませ。そして子ども達の成長をお家の方々とご一緒に見守り、サポートしていきたいと思います。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

赤組

幼稚園にみんなのにぎやかな、楽し気な声が帰ってきたと思ったら、その次の日には台風。今年は本当に台風が多いですね。大きな被害がないことを願います。

2学期初日は全クラス全員出席で迎えることができました。待っていました！とばかりに、登園してお友達とお話ししたり、追いかけてあつたりする子ども達。そして登園するなり何人もの子が、「せんせい、うわばきちいさかったから、おおきいのにしてください」と言いにきました。そういえば少し会わないうちに、みんなそれぞれ少し大きくなった？ 1学期に着ていたお洋服の丈も少し短くなったような？ 背が伸びているんだなあと思成長を感じました。そしてどこか表情もお兄さん、お姉さんになっているような気もしました。それは夏休みの間にいい色に焼けていたからでしょうか？ 背が伸びていたからでしょうか？ いや、身体の成長だけではありません。実は赤組さんの中には、しっかり自分で2学期のはじまりを意識していたお友達がいたそうです。2学期の初日、朝早起きをして、8時半に幼稚園に行くぞとお家の人とお約束して頑張ったのだそうです。そうして自分で決めて、頑張ろうとすること、そしてそれが達成できたということは、心が強くなっている証拠ですね。身体の成長とともに、心の成長の一面もちらっと感じる事ができた2学期初日でした。

これから始まる赤組の2学期、どんなことでもやってみようという気持ちを大切に、またそんなお友達の姿を認めて、認め合えるような赤組で過ごしていきたいと思います。そうして認め合えるためには、お友達の気持ちを理解しようという思いやりや子どもなりの傾聴しようと思う気持ちが大切です。自分の気持ちを言葉で、お友達の言葉にも耳を傾けられるように、そんな関係性を築いていきたいと思います。2学期の終わりには、心も身体も強くなっていられますように。今学期もどうぞよろしくお願ひ致します。

緑組

夏前に子どもたちと植えた夏野菜たち。梅雨の物凄い雨量と酷暑により、残念ながらあまり収穫ができませんでした。それでも夏休みの間に少しずつ収穫できたものもあります。そして次々とやってくる台風！大抵の台風や前回の20号の台風は夜中に通り過ぎ、話題にあげても「知らなかったー」と言う子どもたち。今回の台風21号により、自然の凄さを感じたことと思います。時には綺麗で、優しく、時には強く、恐ろしく、神様の御業にどうして？と分からなくなる時もあります。出来るなら沢山の方々が災害に遭いませんようにと子どもたちとお祈りしたいと思います。

2学期に入ると小学校がぐんと目の前に近づいてきます。就学先が見えてくると、きっとこのクラスの子もたちは期待ももちろんですが、緊張も増していくのだろうと察しています。学習としての文字や数字に興味を持って貰いたいというのは、緑組として一つの狙いではありますが、それ以前に学んで貰いたいものが、まだまだ沢山あります。幼稚園では一生懸命に物事に取り組み、頑張っている子どもたちですが、その反面、お家の方々に悶々とした気持ちをぶつけてしまう子どもたちもいて、もう一步自分たちの気持ちを上手くコントロールさせる力を養うことができると嬉しいと考えます。そろそろ、少しずつクラス全体の中での自分が見えてくるようにと思います。わがまま言っている自分、とんでもなく怒っている自分ではいけないとわかっているのに抜け出せない子もいるでしょうし。まだまだ自分の気持ちを何とか通そうとする状況を考えて我慢の出来ない幼さのある子もいるでしょう。このような場合、子ども達に注意を促すだけではなく、大人の対応も考え、この場合はどうすれば良いのかと共に考えるような、大人の真剣な対峙も必定でしょう。ルールのある中での、自分の考えや所作に向き合えるようになるということでしょうか。

2学期は沢山の行事が待ち構えています。緑組として花組・赤組をリードしていく緑組さん。心の地盤をしっかりと固めて、花組・赤組の小さいお友だちはもとより、緑組の友だちにも自信を持って繋がっていけるように。地盤がしっかりとすれば、心の不安定さが穏やかになれば、きっと更に伸びる緑組となるでしょう。小学生になるのだから…をつける前に、それぞれに付けていただきたい力を再確認しながらしっかりとサポートしていきたいと思います。緑組は10名となりましたが、皆でしっかりと繋がって、一つ一つの課題を乗り越えていきたいと思います。

2学期もお家の方々とともにお子様の成長を育んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。